

令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	川上村
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	カラマツ木育事業
事業費		1,177,290 円 (うち支援金: 1,067,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

- ・カラマツを中心とした 50 年以上の人工林は成熟期を迎え、伐って利用する時期となっている。そのため、よりカラマツ材の利用促進を図る取組が必要です。
- ・林業生産活動の停滞による林業従事者の減少により、森林の保全、木材の安定供給に影響を及ぼす懸念があります。

(2) 本事業の目的

- ・児童に対して、カラマツ材利用の大切さや村の産業を支えた林業、木材に興味をもってもらうための体験学習の場を設ける。また、本事業で植栽した立木を保護するため、鳥獣被害防止柵を整備する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (2) 対象者 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (3) 実施方法 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

カラマツの苗作りから始まり、植栽、間伐、加工という林業の一連の流れを小学生に体験してもらう。

②令和 3 年度実績

- ・しいたけの植菌・カラマツの苗作り、植栽、間伐体験、コースター作り、椅子作り

1. しいたけの植菌



2. 苗づくり



3. 植栽



4. 間伐体験



5. 椅子づくり



6. コースター作り



6. 野生鳥獣侵入防止柵設置



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

児童に森林や木に触れ合う機会を提供することで、親しみや理解を深めてもらうとともに、森林の役割やカラマツ材をはじめとした様々な木材の特徴を伝えることができる。

(2) 継続性

種まき→植栽→伐採→加工という林業の流れを、小学校3年生から6年生まで毎年異なるテーマで実施し、森林の保全や利用促進のための取組を多くの児童に伝えられる機会となる。

(3) 普及性

本事業を通して林業に関心を持った児童が、将来林業に携わる仕事に就くことを期待している。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

- ・本年度は合計112名の児童がテーマ毎の木育事業を体験した。
- ・当村の森林の歴史や現状について理解を深めることができた。
- ・カラマツ材の良さ、利用する大切さを学ぶことができた。

(2) 課題

- ・中学生を対象とした林業教育の充実を図る必要がある。

(3) 今後の取組方向

■事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・今後も目的達成のために、引続き小学生を対象とした木育事業を実施する。

□事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

□事業を継続しない

(継続しない理由を記載)